

9日 木曜

テモテⅡ



4:9 あなたは、何とかして、早く私のところに来てください。

4:10 デマスは今の世を愛し、私を捨ててテサロニケに行ってしまう、また、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマテヤに行ったからです。

4:11 ルカだけは私とともにおります。マルコを伴って、いっしょに来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

4:12 私はテキコをエペソに遣わしました。

4:13 あなたが来るときは、トロアスでカルポのところに残しておいた上着を持って来ててください。また、書物を、特に羊皮紙の物を持って来てください。

4:14 銅細工人のアレキサンデルが私をひどく苦しめました。そのしわざに応じて主が彼に報いられます。

4:15 あなたも彼を警戒しなさい。彼は私たちのことばに激しく逆らったからです。

4:16 私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。どうか、彼らがそのためにさばかれることありませんように。

4:17 しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。私はししの口から助け出されました。

4:18 主は私を、すべての悪のわざから助け出し、天の御国に救い入れてくださいます。主に、御栄えがとこしえにありますように。

アーメン。

4:19 プリスカとアクラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。

4:20 エラストはコリントにとどまり、トロピモは病気のためにミレトに残して来ました。

4:21 何とかして、冬になる前に来てください。ユプロ、プデス、リノス、クラウドヤ、またすべての兄弟たちが、あなたによろしくと言っています。

4:22 主があなたの霊とともにおられますように。恵みが、あなたがたとともにありますように。

パウロは自分の死が近いことを感じて、何ごとも率直に書いているようです。テモテに頼みごとをして、彼に対する信頼を表わし、また信仰からそれた人のことも書いていますが、それはテモテに警戒を教えるためかもしれません。

そしてそのような中でパウロは最終的には「主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と、証しをしています。

私たちも自分がさらけ出されるような状況で、率直に語ってしまうようなときにも、最後は主を讃えて感謝するような者でありたいと思います。

正直な証し人をなりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

